



「現況編」

40th Anniversary
Iwate Health Service Association

財団法人岩手県予防医学協会創立40周年記念誌

各課紹介

Each Section Introduction by Photograph of 2010

事業概要・福利厚生

Introduction of Work as of 2010



常務理事
十和田 紳一



会長
高橋 牧之介



専務理事
田郷 敏昭



部長会



循環器科部長
今野 拓夫



呼吸器科部長
田澤 稔



外科部長
御供 陽二



県南センター診療部長
向瀬 義郎



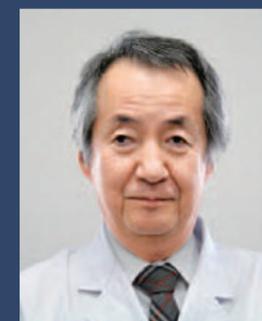
消化器科部長
伊藤 聡



医師
中村 義孝



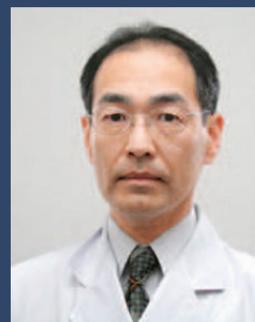
医師
熊谷 修



医師
三浦 俊夫



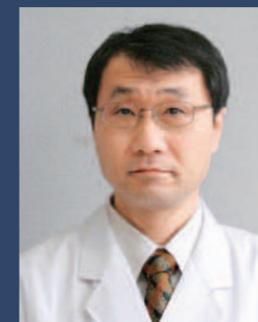
医師
堀江 寛



医師
大石 浩



医師
佐野 浩世



医師
遠藤 義洋



医師
菅原 優



健康推進課



Introduction of Work as of 2010

岩手県予防医学協会の現況



総務課



経理課





健康推進課

ドック課



Introduction of Work as of 2010

岩手県予防医学協会の現況



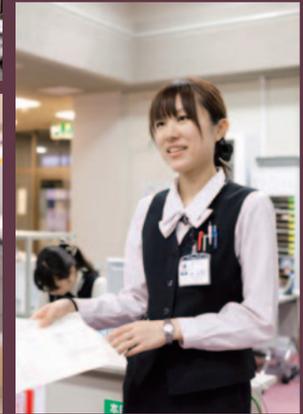
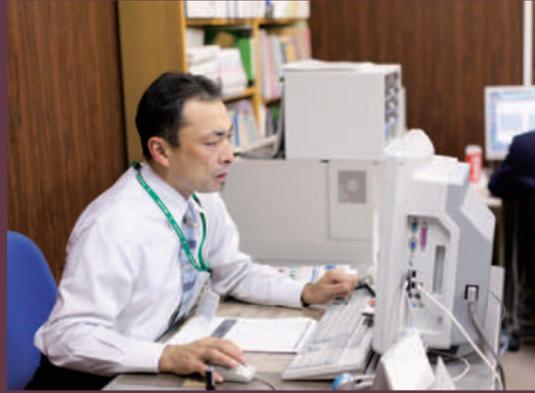
Introduction of Work as of 2010



総合
企画課



システム
開発課



健診課



情報管理課



Introduction of Work as of 2010

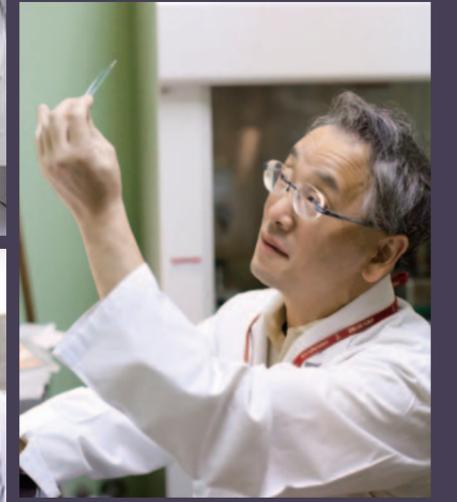
岩手県予防医学協会の現況



生理機能
検査課



臨床
検査課



Introduction of
Work as of
2010

岩手県予防医学協会の現況



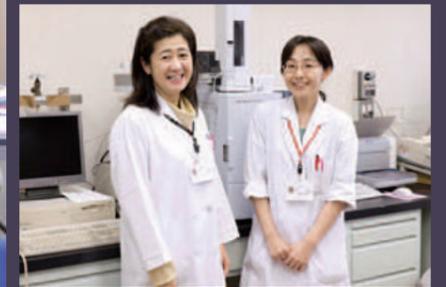
総務課



健康推進課



環境保健課



放射線課



Introduction of Work as of 2010

岩手県予防医学協会の現況



医療
技術課



岩手県予防医学協会の現況

Introduction of
Work as of
2010





事業概要

健康診断

生涯にわたる健康づくりのパートナーとして、「職場」「地域」「学校」「赤ちゃん」を対象とした健康診断を行っている。



職場の健康診断

企業が実施する健康診断で、法律で定められた一般健康診断や特殊健康診断の他に、一般健康診断の検査内容を充実させた生活習慣病健診などがある。当協会施設での健診と検診車で企業へかがう巡回健診を行っている。

●一般健康診断

<種類>雇入時の健康診断/定期健康診断/特定業務従業者の健康診断/海外派遣労働者の健康診断

●特殊健康診断

特定の有害物を取り扱う労働者や、有害な作業環境下で働く労働者に対して、企業に義務づけられた健康診断。

●生活習慣病健診

法定の定期健康診断に希望の検査項目を追加し、オリジナルの健康診断を実施することができる。また職場の特性に合った、健康診断の企画提案も行っている。

●全国健康保険協会(旧政府)管掌健康保険「生活習慣病予防健診」

旧政府管掌健康保険に加入している人を対象とした健康診断。対象年齢の指定はあるが、費用負担が少ない。当協会は同健診の指定機関となっている。

●労災二次健康診断

労働安全衛生法に基づく、直近の定期健康診断で血圧・肥満度・血中脂質・血糖の四項目すべてにおいて「異常の所見」があると診断された労働者が受けることができる健診。当協会は岩手労働局より「労災二次健診実施医療機関」として指定を受けている。労災保険制度のもと、国の全額負担で実施する健康診断。

●腸内細菌検査

主にレストラン・食堂の施設で調理業務に従事する労働者に対して、定期的実施することが企業に義務づけられている検査。食中毒などを引き起こす原因となる菌を持っていないかどうかを調べる。

地域の健康診断

地域に暮らす人々の健康を維持するための健康診断で、市町村が実施するさまざまな健康診断をサポートしている。

●結核検診

市町村からの委託により行っている。高齢者・施設向け専用の検診車や老人保健施設などでの利用が可能。全国組織である結核予防会岩手県支部として、さまざまな結核予防事業を推進している。

●骨粗鬆症予防検診

骨強度を測定する検診。市町村からの委託により行っており、各種イベント、健康まつり等での出張検診も行っている。

●がん検診

- ・肺がん検診 <検査項目>胸部X線(直接、間接、CR)撮影・判定/喀痰細胞診
- ・胃がん検診 <検査項目>胃部X線(直接、間接)撮影・判定/ペプシノゲン
- ・大腸がん検診 <検査項目>便潜血反応検査(ラテックス凝集比濁法・2日法)
- ・子宮がん検診 <検査項目>子宮頸部細胞診・内診
- ・乳がん検診 <検査項目>乳房および甲状腺の視触診/乳房X線(CR)撮影(1方向・2方向)・判定/乳房超音波検査・判定
- ・前立腺がん検診 <検査項目>前立腺特異抗原(PSA)

●個別検診(盛岡市)

盛岡市で実施している「盛岡市成人検診」の指定機関となっており、各種検診をまとめて受診できる。



人間ドック

平成16(2004)年4月ドック専用施設「人間ドックセンター」を開設し、一人ひとりに合った人間ドックを選べるよう、一日人間ドックの他、8つのオプション検査と4つの専門ドックがある。



一日人間ドック

●一日人間ドック

〈項目〉 体温/血液型/身体計測(身長・体重・BMI・体脂肪率・腹囲・心拍数)/感覚器(視力・聴力・眼圧)/免疫学的検査(リウマチ因子・CRP)/代謝(血糖・HbA1c・総コレステロール・中性脂肪など)/骨強度(踵骨超音波)/末梢血等(血色素量・赤血球数・白血球数など)/泌尿器(尿検査・クレアチニン・前立腺特異抗原)/肝・胆・膵臓(血液検査)(肝機能・肺炎ウイルスなど)/腹部超音波(肝臓・胆のう・腎臓・膵臓・脾臓)/消化管(胃部X線・便検査)/循環器(血圧・心電図・眼底)/呼吸器(胸部X線・肺機能・COPD検査・喀痰細胞診)/甲状腺(視触診)/乳房(視触診・乳房X線)/内科診察/健康支援(保健・栄養)

●オプション検査

婦人科/胸部CT/脳MRI・MRA/心臓血管超音波/ホルター心電図/膀胱超音波/内臓脂肪CT検査/歯周病

●卒煙サポート

専門ドック

レディースドックを除く脳・心臓・肺の3つのドックを自由に組み合わせ受診することができる。

●レディースドック

〈検査項目〉 子宮内診・頸部細胞診・経膈超音波*体部細胞診/乳房視触診・X線・超音波/甲状腺視触診・超音波*TSH*FT4/身体計測(身長・体重・BMI・体脂肪率・基礎代謝量など)/一般検査(血圧・尿検査・赤血球数・血色素量など)/骨強度(踵骨超音波)/代謝(血糖・総コレステロール・中性脂肪など)/健康支援(保健・栄養・運動)

*医師の指示による

●脳ドック

〈検査項目〉 MRI・MRA/高次脳機能検査/循環器(血圧・心電図)/代謝(血糖・総コレステロール・中性脂肪など)/末梢血等(血色素量・赤血球数・白血球数など)/泌尿器(尿検査・クレアチニン)/胸部X線/内科診察/健康支援(保健・栄養・運動)

●心臓ドック

〈検査項目〉 心臓超音波・血管系超音波・頸動脈・腹部大動脈/血圧/心電図/ABI・CAVI/BNP/代謝(血糖・総コレステロール・中性脂肪など)/末梢血等(血色素量・赤血球数・白血球数など)/泌尿器(尿検査・クレアチニン)/肝機能(AST・ALT・γ-GTPなど)/胸部X線/内科診察/健康支援(保健・栄養・運動)

●肺ドック

〈検査項目〉 胸部マルチヘリカルCT検査/胸部X線/肺機能・COPD検査/酸素飽和度/喀痰細胞診/尿検査/血圧/心電図/免疫学的検査(CRP・CEA・シフラ21-1)/末梢血等(血色素量・赤血球数・白血球数など)/内科診察/健康支援(保健)



健康診断 事業概要



学校の健康診断

学校保健安全法に基づく様々な健康診断や検査を岩手県内の学校で実施、事後指導も含めて子どもたちの健康増進を多面的にサポートしている。

●寄生虫検査

寄生虫検査は「糞便検査」と「蟯虫卵検査」とに分けられる。設立当時から40年にわたり実施してきた。以前に比べて少なくなった寄生虫感染だが、食生活や生活環境の変化により海外由来の寄生虫の増加や一度減少した寄生虫の増加と問題は多様化している。

●尿検査

学校検尿は「腎臓病」と「糖尿病」を早期に発見するため、学校保健安全法により実施が義務づけられている。日本学校保健会が定めた管理指導表を精密検査対象者へ送付して、確実に医療機関を受診するようフォローアップ体制を確立している。このことにより、腎臓病の早期発見と糖尿病における長期予後の向上に大きな成果を上げている。

●心臓検診

心臓突然死の予防と心疾患の早期発見を目的として実施している。平成7(1995)年学校保健法(当時)が一部改正され、小学生・中学生・高校生の各一年生全員を対象とした心臓検診が義務づけられたが、協会では、小学生の中間学年である四年生を対象に加えるなど、複数年での実施を呼びかけている。

●脊柱側弯検診

脊柱側弯症とは背骨が横方向に曲がったりねじれた状態をいい、成長期に進行すると肺や心臓にまで影響を及ぼすことがある。早く発見することで早期治療が可能となる。

●貧血検査

身体が著しく成長する学童期では、体内で鉄の需要が高まるため鉄不足になりやすく、その結果貧血になること(鉄欠乏性貧血)が多いとされる。この潜在的な鉄欠乏状態(貧血予備群)を拾い出すことが重要になる。

●生活習慣病予防健診

小児期のうちに肥満、高血圧、動脈硬化といった生活習慣

病の危険因子を見つけ出し、生活習慣を改善・予防することが重要と考え、昭和63(1988)年から全国に先駆けて実施してきた。食事や運動を中心とした講演会の開催など健康教育も行っている。

特定健診・特定保健指導

平成20(2008)年4月からメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予防の考え方を取り入れた、新しい健康診断と保健指導がスタートし、これまでの「病気の早期発見・早期治療」から、「病気になる前にまず予防」へと、健康診断と保健指導のあり方が大きく変わった。

●特定健康診査

40~74歳の医療保険加入者を対象として、メタボリックシンドロームの予防を目的に実施する健康診断。

●特定保健指導

特定健康診査の結果により、生活習慣の改善に努める必要がある人に対し、計画的に行う動機付け支援と積極的支援。国の示す内容に則した保健指導を行っている。

赤ちゃんの健康診断

岩手県から委託を受けて先天性代謝異常検査を、また岩手県医師会と協力して胆道閉鎖症マスキング検査を行っている。

●先天性代謝異常検査

300種類以上の病気が明らかになっているが、このうちこれまでの6種類の疾病検査に加え、平成23年2月から新たに19種類の検査項目を追加。これは全国的にも早い取組みで、県・医療機関と連携し、この取組みを全面的にサポートしている。

●胆道閉鎖症マスキング検査

胆道閉鎖症は、生まれつきあるいは生後まもなく、胆汁が腸に流れなくなる病気で、岩手県内全ての赤ちゃんを対象に行っている。



事業
概要

結核予防

法人結核予防会岩手県支部として、結核予防のためのさまざまな活動を推進している。

●複十字シール

複十字シール運動は、結核や肺がんのない明るい社会を目指す、世界共通の募金活動で、結核予防の教育活動、調査研究活動、国際協力などに役立っている。

複十字シールは募金媒体として使われ、現在およそ80ヶ国で発行、日本では1952年に作られた。平成14(2002)年からは、画家の安野光雅氏のデザインとなっている。

〈益金の主な使い道(全国)〉

- 結核予防週間行事や教育資材の作成
- 胸部検診の機器整備
- 全国各地域の結核予防団体の活動
- 結核対策などの調査研究
- 途上国の結核対策支援



●全国一斉街頭キャンペーンを実施

毎年、結核予防週間(9月24日~30日)中、NPO法人岩手県地域婦人団体協議会とともに県内で街頭キャンペーンを行い、結核予防の普及啓発と募金への協力を呼びかけている。

●作業環境測定

作業環境測定機関として各種作業環境の測定。

●室内空気環境測定

「シックハウス症候群」に対応するため、一般住宅から職場や学校まで住環境の測定。

測定対象物質/ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレンなど

●レジオネラ属菌等細菌検査

循環式の浴槽や温泉施設、ビルの冷却塔などレジオネラ属菌等細菌が繁殖しやすい場所の水質検査。

●ダニアレルゲン検査

文部科学省は、年一回の定期的なダニまたはダニアレルゲン測定の実施を「学校環境衛生の基準」で定めており、この基準に基づいたダニアレルゲン検査を行っている。

事業
概要

環境調査

環境調査は、粉じん・有機溶剤などが発生する特殊な作業場の環境測定および局所排気装置の点検から、室内空気汚染物質の測定、浴槽などのレジオネラ属菌の検査まで、快適な環境づくりのサポートをしている。

講習会・セミナー

市町村・企業・学校などで健康教育に携わっている人を対象としたさまざまな講習会・セミナーを行っている。

●健康教育研究会

その時々が必要とされるさまざまな情報を提供するとともに、健康教育のすすめ方について参加者とともに考えていくという目的で、昭和60(1985)年から、年に一度開催。

●健康教育セミナー

健康教育に携わる人を対象に、その指導・技術の向上を目的としたセミナー。

●基本健康診査等従事者講習会

基本健康診査に携わる人の資質の向上をはかり、健康診査の効果的な実施を目的として岩手県が行う指導講習事業のひとつで、岩手県からの委託により開催している。

健康診断後のサポート

健康診断の結果を有効に活用するためのさまざまなサポートを行っている。

●健康診断事後指導

市町村・企業・学校などを訪問し、健康診断の結果説明、指導などを行う。

●講演会や各種教室へ職員派遣・協力

内容に応じて、保健師・管理栄養士・健康運動指導士などを派遣している。

●一日人間ドックの指導・相談

一日人間ドックの診察終了後、個別の健康相談(保健師・管理栄養士が対応)や、昼の待ち時間を利用したミニ栄養講話などを行っている。

●定期健康相談

保健師が年間を通じて定期的に企業を訪問し、健康診断の事後措置をはじめ健康づくりのアドバイスなど、企業全体の健康管理を幅広くサポートしている。

●健康支援(1年間)

健康生活を維持・向上させるための生活・食事・運動などのアドバイス。生活状況調査・食事調査。年4回の健康レター。フリーダイヤルによる無料電話相談。

●健康度評価(年1回)

血圧・問診、体組成量(体重・部位別体脂肪・部位別筋肉量・BMI・基礎代謝量)、内臓脂肪量(CT検査)、血液検査について専門スタッフによる結果説明とその改善支援。

●トレーニング室利用 ●健康クッキング教室

●食事内容調査(ミール) ●CT検査

●ヘルシーランチ(健康定食)



健康支援

事業
概要

保健師、管理栄養士、運動指導士といった専門スタッフが一人ひとりの健康づくりをきめ細やかにサポートしている。

メンタルヘルスサポート

近年、事業所における大きな課題となっているメンタルヘルスのサポートを行っている。

●メンタルヘルスチェック

ストレスに関連する症状や不調を把握評価。

●メンタルヘルスケア

医師・臨床心理士が個々に面談指導者を行い、職場の実態に即した管理職研修等も行っている。



健康げんき倶楽部

事業
概要

会員制のヘルスサポートシステムで、協会の健康診断を受診した人であれば誰でも入会でき、一人ひとりにあった健康づくりを専門スタッフがサポートしている。



あおぎり会

福利
厚生

主な行事

- (1) 総会
- (2) 新人歓迎会、入会30年・20年・10年を祝う会
- (3) レクリエーション
 - 日帰り旅行
 - ボウリング大会
- (4) 旅行
- (5) 年祝い(厄年祝い)会
- (6) 送別会
- (7) 定年退職を祝う会

クラブ活動

- (1) 野球部 (部員24名)
 - 東日本野球大会
 - 盛岡タイムス杯
 - 3団体親善野球大会
 - 高松宮杯野球大会
- (2) テニス部 (部員8名)
- (3) フィッシング部 (部員32名)
- (4) ボウリング部 (部員11名)
 - 岩手県実業団選手権大会
 - 東北実業団ボウリング競技大会
 - 東北実業団ボウリング選手権大会
- (5) ゴルフ同好会 (部員28名)
- (6) さんさ踊り同好会 (部員14名)
 - 海外、県外からの研修会、各種大会レセプションに出演
 - 「盛岡さんさ踊り」参加者の指導

その他、職員への慶弔(結婚祝・出産祝・香典・病氣見舞い・退職饗別・入会30年・20年・10年記念・年祝など)や娯楽施設利用(映画鑑賞券・宿泊施設利用補助・小岩井農場入場券補助・リフト券購入補助など)の運用を行っている。

「あおぎり会」は協会職員の親睦団体として昭和53年4月1日に発足し現在までその活動を続けている。

